

支部紹介

旭川支部



当会は、北海道の真ん中「旭川市」を中心に、約10000km²、4市16町2村(愛別町、上川町、鷹栖町、当麻町、比布町、美瑛町、東神楽町、東川町、名寄市、下川町、中川町、美深町、音威子府村、士別市、剣淵町、和寒町、富良野市、上富良野町、中富良野町、南富良野町、占冠村)の区域を束ねる支部です。

8部門10委員会と、2つの特別委員会を組織し、上川総合振興局管内の市町村の健康維持、増進に係る活動を行っています。

昨今、保険薬局や薬剤師を取り巻く環境は目まぐるしく変化しています。医療制度はもちろんのこと、患者個々、地域全体の医療へのニーズも大きく変化し、これに合わせるように社会システムも変化をしています。新型コロナウイルス感染症対策をはじめ地域住民に寄り添った、社会のリソースとしての薬剤師の職能認知・拡大に取り組んでいます。

当会には、469名の薬局や病院等に所属する様々な薬剤師が集っています。他の支部同様に会員数

少な悩まされていますが、そんな中でも多様な発想で出来ることを出来る限り工夫して行っています。

新型コロナウイルス感染症対策では特別委員会を立ち上げ、勤務先の区別なく多くの薬剤師が感染症予防・治療への対応に協力しています。特に旭川市が実施してきた「新型コロナウイルスワクチン集団接種事業」では、医薬品管理はもちろんのこと、会場の動線管理に立案から関与し、そこに勤めるスタッフ(非医療者)の指導にも携わりました。

行政とのつながりでは、あさひかわ健康まつり(健康増進イベント)やあさひかわキッズタウン(小学生の職業体験)などで、公衆衛生向上・増進のお手伝いや薬剤師職能の周知・拡大に努めています。

旭川三師会では旭川市医師会、旭川歯科医師会との連携を育み、日々のより良い連携に繋がっています。特に歯科医師会とのつながりは深く、災害対応に関する研修会などで、相互に参加者を募って交流しています。

当会では、エリアに属する4つの市を中心として、それぞれの部会としても活動を行っています。名寄部会、富良野部会では、学校薬剤師活動を中心に地域に存在感を示しており、士別部会では青年部の勉強会などの活動が盛んです。現在、コロナ禍で疎遠になってしまっていますが、今後はこういった部会同士の交流も発展させていき、広いエリア構成ならではの様々な世代が交わる支部となっていくことで、魅力ある組織運営になっていくのではないかと考えています。

(長塚健太)



ワクチン接種初回



キッズタウン

ここからは、当会における重要人物を2名ご紹介いたします。

当会の薬局部担当副会長である古庄崇章先生と広報部部長の長塚健太先生です。

まず、古庄先生ですが、なんと言っても学校薬剤師活動での活躍が目覚ましいものがあります。当会に所属するようになってから学校薬剤師としての活動に携わり、徐々にどっぷりとハマっていき、2022年からは旭川市学校薬剤師会の会長に就任しております。特に薬物乱用防止活動では旭川市内の担当校以外にも、市外何カ所もの学校に向いて児童・生徒に講演を行っています。また、コロナ禍においては旭川市学校薬剤師会として、市への衛生用品等の寄贈を行っています。こういった活動が学校の、ひいては社会全体の環境衛生に薬剤師の職能を活用できるということを示しているのではないのでしょうか。

古庄先生は北海道薬剤師会の薬局部、学校薬剤師部の理事としても活躍されております。これまでの活動が評価され、2024年度からは旭川市学校保健会の会長にも就任予定とのこと。もちろん学校薬剤師活動以外にも、各種講演会や学術大会での座長、式典での司会など、活躍の場は多岐にわたります。今後も精力的に活動され、さらなる活躍が期待されます。

そんな古庄先生のSNSでは食事の写真が紹介されています。特にラーメンの投稿を精力的にされており、そういった美味しそうな投稿を見かけると私のお腹は鳴ってしまうのです。

このコラムの後段では、旭川のグルメスポットについて古庄先生にご紹介いただいておりますので、ぜひ最後まで読み進めていただきたいと思います。

次に長塚先生ですが、期待のルーキーです。長塚先生こそ、当会のファシリテーターであり、イニシエーターであり、バランサーであり、そして次世代を担う若手でもあります。

学生時代から北海道の薬学生団体「Pharm*H」などでも活躍されており、卒業前からすでに大人物の風格がありました。大学卒業後すぐに地元旭川で就職し、その手腕を振るってきました。最近の功績で特に大きいものは新型コロナウイルス感染症対策特別委員会(以下、COV 特委)委員長と

しての活動ではないでしょうか。新型コロナウイルス感染症対策活動についてリーダーシップを発揮されたわけですが、薬剤師界隈のみならず旭川市保健所とも連携し、新型コロナウイルスワクチンの集団接種では、「薬剤師による予診サポートシステムの構築」「集団接種会場の感染対策等への助言」だけでなく、集団接種計画全体を考え、医学薬学的な視点から接種促進策などを提示しました。旭川市市長の定例会見においても新型コロナウイルス感染症対策における「薬剤師の活躍」に触れていただけるほどでした。

そのCOV特委、立ち上げのきっかけになった、各個人の基本的な感染対策をわかりやすく示す「なまらシンプルポスター」の作成は1つのターニングポイントではないかと考えています。この「なまらシンプルポスター」は、作成して数年経ちますが、未だに旭川市内外の様々な場所で掲示されているのを見かけます。もしかしたら皆様もどこかで目にされたことがあるのではないのでしょうか。



また最近では日本口腔ケア学会や中医協でも「薬剤師による口腔ケア支援」が言及されるようになってきました。長塚先生は、その何年も前から口腔ケアに注目し、旭川口腔ケア普及研究会の薬剤師会幹事を務めるなど歯薬連携を強化してきました。

そのきっかけは糖尿病予防における「一次予防としての口腔ケア」を謳い、はじめられたものですが、多職種との連携を深めるうちに、薬剤による口腔への悪影響に着目し、一次予防はもちろん、外来や在宅における、口渇や摂食嚥下障害な

ど二次予防、三次予防としての口腔ケアにも取り組むようになりました。歯科医師、歯科衛生士などの歯科専門職と災害対策を通じて意見交換を行ったり、ボウリングなどのレクリエーションを通して連携を深めたりと、口だけではなく、行動でもその重要性を示しています。

他にも様々な会で幹事やアドバイザーを務めるなど、活躍の場は多岐にわたり、北海道薬剤師会でも薬局部地域医療保健委員として活躍されています。

そんな長塚先生は長年「福山雅治」の大ファンで、ライブには毎回駆けつけるほどです。彼の歌うカラオケはまさにプロ級だとか…。

今後もその手腕を活かしてさらなる活躍が期待されます。

(松野宏治・中山寿志・松野至洋)

さて当会のエリアは大きく4つのエリアに分かれていますことをご紹介しましたが、ここからは、エリアごとのアピールポイントをご紹介します。

●美しい自然と美味しい食事の宝庫 名寄エリア

まずは、北海道の美しい自然環境と豊かな文化を持つ名寄市及び周辺地区をご紹介します。

中川町(人口 1302人、男 670人、女 632人、723世帯)は、自然に囲まれた魅力的なスポットが点在しています。ぜひ訪れたい観光スポットは「道の駅 なかがわ」や「エコミュージアムセンター(中川町自然誌博物館)」、そして「ポンピラ・アクア・リズイング(宿泊・温浴施設)」です。また、特産品としてはハスカップワイン、ソーセージ、牛タンみそづけなどがあります。夏季には「ハスカップソフトクリーム」も楽しめます。

音威子府村(人口 641人、男 345人、女 296人、441世帯)、自然との共生が感じられる場所です。観光スポットとして「音威子府山村都市交流センター(木遊館)」や「音威富士スキー場」、そして「住民保養センター天塩川温泉(宿泊・温泉施設)」があります。特産品としては音威子府そば、山菜、木工芸品などがあります。

美深町(人口 3826人、男 1857人、女 1969人、2069世帯)は、豊かな自然環境が広がる地域です。観光スポットとして「トロッコ王国 美深」や「松山

湿原(函岳)」、そして「道の駅びふか」があり、チョウザメ館やびふか温泉もおすすめです。特産品はキャビア、くりじゃが(ジャガイモ)、クラフトビールなど多



トロッコ王国

彩です。美深町のグルメも魅力で、南坂精肉店のジギスカンや花月堂のソフトブリオッシュはおすすめです。

下川町(人口 2976人、男 1430人、女 1546人、1656世帯)は、美しい自然が広がる場所です。観光スポットとして「万里の長城・桜ヶ丘公園」や「象の鼻森林公園展望台(サンルダム、下川町を一望できる)」、そして「五味温泉(宿泊・温泉施設)」があります。特産品としてふるさとの元気(トマトジュース)、下川六〇酵素卵、下川手延べうどんなどがあります。地元のグルメとしては、コーヒーと洋食アポロ、みなみ家のうどん、矢内菓子舗、You'slu亭(ゆうずる亭)の居酒屋がおすすめです。

名寄市(人口 25534人、男 12419人、女 13115人、14066世帯)は、北海道ならではの魅力がたくさん詰まった地域です。観光スポットとして「道の駅「もち米の里☆なよろ」」や「なよろ天文台きたすばる」、「なよろ健康の森・北海道立サンピラーパーク」などがあります。特産品はアスパラ、とうもろこし、かぼちゃ、もち米、じゃがいも、星空雪見ほうれん草などがあります。名寄市のグルメも多彩で、玉ちゃんのやきとり、紅花の更科そば・かつめし、トトリの焼肉、香奈美の焼肉、焼き鳥居酒屋まいどのたれザンギ、お弁当専門店まごべんのチキンタツタ弁当など、さまざまな味が楽しめます。

名寄部会、1市・3町・1村の各地域の魅力をお伝えしました。名寄市及び周辺地区は、自然の美しさや美味しい食べ物、親しみやすい地元の人々が魅力です。ぜひ訪れて、素晴らしい体験を楽しんでください。

(池田幸司)

●わが街 SAMURAI SHIBETSU

皆さんは士別(しべつ)と言う街をご存じでしょうか？

士別(しべつ)という道東の標津(しべつ)とよく間違われます。場所を説明するときは旭川から北に60kmの「道北の侍(さむらい)しべつ」と言うようにしています。ここからは、そんな士別のグルメを紹介します。

まずは何といっても外せないのが「サフォーク」です。

サフォークランド士別と言われるぐらいサフォークの育成に力を入れています。士別産サフォークラムの特徴は、適度にあるサシと歯ごたえ。でも、しっかりと噛み切れる柔らかさです。羊独特の臭いがほとんどありません。牛にも劣らない、希少な高級食材です。

そんなサフォークを味わえるのは『レストラン羊飼いの家』『ペコラキッチン』『士別 inn 翠月』『士別グランドホテル』など市内のレストラン等で提供しています。ほかにもサフォークを使った小籠包ならぬ「羊籠包」、サフォークと士別産米を使った「羊と雲のライスバーガー」などはお土産としてサフォークランド士別

ならではの逸品です。『道の駅侍しべつ』で購入できますのでお立ち寄り際にはぜひお土産にしてみてくださいはいかがでしょうか。



サフォーク

次に紹介するのは「士別焼き鳥」です。

美唄焼き鳥のようなもつ串ですが、美唄焼き鳥よりちょっと小ぶりで、士別市民は焼き鳥屋に行くと必ずといっていいほどもつ串を頼みます。その頼み方も大胆で、だいたい10本単位で発注します。団体で行った時には50本なんて頼むこともざらなんです。

士別焼き鳥おすすめのお店は『もつ串壱助』。一人カウンターで食べるもよし、グループでわいわいしながら食べるもよし、もつ串を肴に生ビールやハイボールが進みます。そして締め蕎麦。鳥でとった出汁は絶品で、あえて残しておいたもつ串を乗せて七味ではなく胡椒をかけて食べるのが士別流なのです。

グルメを堪能したあとは、絶景スポット『満天の星の丘』。

士別市西士別学田というところにある全道一ともうたわれたことのある、全国でも有数の星空観

測スポット。肉眼で無数の星々を観察できるこの場所は、まさに極上の天然プラネタリウムです。天の川や夏の大三角形、カシオペア座、北斗七星を見ることがもできます。士別に来た際には絶対に足を運んで欲しい場所です。

こんな士別です。是非一度お越し下さい。

(小椋久徳)

最後に旭川市です。

●旭川の迎賓館「蕎麦と料理 おかだ紅雪庭」

旭川市のおすすめに『蕎麦と料理 おかだ紅雪庭』という名店があります。

昭和8年に創られた旧岡田邸、北の誉という酒蔵のオーナー、岡田重次郎氏の自宅として誕生しました。洋風建築でありながら、畳敷き三十畳の和室、正面玄関のステンドグラス、作り付けの総桐箆笥、クリスタルのシャンデリア等、和モダンな造りとなっています。旧岡田邸二百年財団によって守られ続けたこの建造物は、2012年12月登録有形文化財に認定されます。

“この建造物は貴重な国民的財産です。”

玄関前のプレートにはそう記されています。

玄関横には来客者を丁寧に迎える紅葉の庭が目を引きま。今回は旭川の迎賓館のような建物でのお食事の機会をお勧め致します。

| | | | |
|---------------|-----------|---|---------|
| お昼のコース | お昼御膳 | 梅 | 3,960円 |
| | | 竹 | 6,930円 |
| | | 松 | 8,800円 |
| 夜のコース | 会席コース【紅葉】 | | 17,600円 |
| | 会席コース【雪】 | | 13,200円 |
| 料理長おすすめコース【庭】 | | | 8,800円 |
| 蕎麦 | もり | | 1,100円 |
| | おろし | | 1,485円 |
| | もり天・かけ天 | | 2,090円 |
| | 鴨せいり | | 2,200円 |
| | 鴨南蛮 | | 1,980円 |
| 夜の鍋 | きんき鍋 | | 7,150円 |
| 一品料理 | 季節の天ぷら | | 1,650円 |
| | 鴨ロース | | 1,210円 |

『おかだ紅雪庭』は昼と夜(予約のみ)の営業です。今回は昼に訪問しました。

店名にあるとおり、「もり」や「おろし」、「鴨せいり」のように蕎麦のメニューが豊富ですが、昼、

夜ともに趣向を凝らした上品なコースメニューも楽しめるよう。一人で行くとお卓のある大広間に通されます。良い席です。上品なシャンデリアが綺麗です。メニューの中に手書きで お昼御膳の文字が。今回はこれにします。

まずは濃厚な冷奴。非常に上品な味で一品目からこの店の丁寧なおもてなしが窺えます。

次に天麩羅、刺身、小鉢の盛り合わせ。ひらめ、甘えびの刺身が新鮮で美味しいです。

天麩羅は「温かいうちに」と勧められた通り、サクサクで温かい。舞茸がプリプリで美味しい。抹茶塩で上品に頂きます。日本酒が飲みたい。昼に車で来たのが残念です。

ここで蕎麦。温かいものと冷たいものが選べます。蕎麦湯が飲みたいので冷たい蕎麦を選びました。幌加内蕎麦でコシがある美味しい蕎麦です。二八蕎麦とのこと。なめらかな食感とのど越しが非常に良いです。

最後のデザートは水羊羹。これは絶品です。甘さ控えめですっきりとした後味です。

すべての料理が素晴らしく、部屋と建物の雰囲気、非常に上品な時間が過ごせました。

ご希望があれば建物内の見学も出来ます。二階から見る庭の素晴らしさは是非ご覧頂きたい所です。

旭川にお立ち寄りの際は是非多くの方に訪れて頂きたいお店として今回ご紹介致しました。

お気軽にお蕎麦を食べにいらしてください。

(古庄崇章)

そんな『おかだ紅雪庭』の美しいお庭がうかがえる秋。食欲の秋、スポーツの秋、読書の秋、様々な活発になる秋です。「来るならこの季節」ということで、魅力満点の旭川エリアの中で1つの季節を選べない！ということで開き直って2シーズンご紹介させていただきます。まずは、紅葉の風景がきれいな「秋」スポットをお勧めさせていただきます。

● 3つの紅葉が楽しめる東川町「旭岳」

秋のお勧めスポットは、旭川市の隣町である東川町内の山「旭岳」です。北海道一の高さを誇る大雪山国立公園のひとつです。旭川駅から車で約1時間です。

「岳」となると登山のイメージが強いかと思いま

すが、登山者はもちろん登山をしない方にも「旭岳ロープウェイ」を利用して楽しむことができます。乗り場までは車やバスで行き、そこからロープウェイに乗る必要がありますが、そこに至るまでの紅葉はもちろん、紅葉の中に佇む河川や岩々の風景、文字通り眼前に広がる大自然が楽しめます。迫力満点です。

そして「旭岳ロープウェイ」に到着後は「山麓(さんろく)駅」という地点からいざロープウェイに乗って行きます。このロープウェイからの風景もまた圧巻。当然普段とは異なる見下ろす紅葉です。

ロープウェイは10分程度で「姿見(すがたみ)駅」へ到着です。降りた後は登山をしない方でも可能な散策コースというものがあり、ここからが本番になります。ロープウェイ内からの景色とはまた異なる迫力、大自然に包まれている感覚、幻想的な風景が広がります。この散策コースの紅葉と合わせてまた圧巻なのが、「姿見の池」というものです。山の中にある池という不思議な感覚、紅葉とのコントラスト、これもまたこの散策コースの秋の魅力です。

一息ついたら戻って終了、とはなりません。山といえば温泉です。最初にお伝えした「旭岳ロープウェイ」という地点には車やバスを止める駐車場の他に、温泉宿がいくつかあります。散策が終わってロープウェイで戻ってきたら、温泉に入り、露天風呂で最後にもう一度旭岳の紅葉を楽しむことができます。湯気と共に見上げる紅葉です。

道中・山中の紅葉、ロープウェイ内からの見下ろす紅葉、そして締めくくりにお好みの温泉宿で露天風呂からの見上げる紅葉。

旭川の短い秋を堪能できる紅葉スポットをご紹介します。

(田淵千倫)

まだまだ欲張ります。もう1シーズン読んでいただきます。

● かわいい冬のハンター「ペンギンのお散歩」

旭川市は、最低気温マイナス41℃を記録したことがある“日本一寒い地域”です。

そんな旭川市では、その寒さによってもたらされる雪や氷を活かしたイベントがたくさんあります。私が特におすすめしたいのは、旭川の冬の風物詩、我らが誇る旭山動物園の「ペンギンの散歩」

です。

2002年にペンギンの運動不足解消を目的に実施され、園内の散歩コースをペンギンたちが歩く姿を見ることができる旭山動物園の最大の名物イベントとなっています。内容はタイトルの通り“ペンギンが集団でただ歩く”それだけです。私自身何度も見に行っていますが、よちよち歩きするペンギンをコースの両脇に所狭しと見物客が並びひしめきとても人気があるのだなと毎回感じます。

そんな「ペンギンの散歩」ですが、ペンギンが出てくる前に飼育員からこのような説明があります。

「散歩に参加するペンギンは主に【キングペンギン】と言い、野生ではキングペンギンが集団で海にエサをとりに行く習性を見ていただくため、旭山動物園では散歩に変えて歩いてもらっています。散歩は“自主参加”でショーではないので、ペンギンがゲートを開けて出て来なければ散歩は中止。強制はしていません。」

つまり、お散歩姿が見られるかどうかはペンギン次第ということなのです。ちなみに、散歩姿が見られるのはキングペンギンだけでなく、ジェンツーペンギンも場合によっては参加しています。この2種は狩りの本能が備わっているため、散歩に出るようです。



「ペンギンの散歩」は園内約500メートルの散歩コースを約30分～40分かけて歩いたり、滑ったりします。基本はよちよち歩き。ときには胸で滑って進むペンギンもいます。運が良ければ焦げ茶色のキングペンギンのヒナを見ることもできます。もふもふでとってもかわいいです。

ペンギンの散歩は例年、園内の散歩コースに雪が積もる12月中旬から開始され、3月までは午前・午後と1日に2回行われ、3月からは午前の1回のみとなります。3月はペンギンの毛が生え変わる時期なので、エネルギーをそちらに使うために、散歩の回数が減るのだそうです。

見学者はペンギンに触ることやフラッシュの使用は禁止ですが、すぐ目の前をよちよちあるくペンギンのかわいらしさに思わず顔がにやけ、写真をパシャパシャ撮りまくりです。ペンギンにとって大勢の人々は黒い壁に見えているらしいです。

ペンギンの散歩が冬期間限定なのは、雪が溶けてしまうとアスファルトの道がペンギンの足に負担をかけてしまうためだそうです。ペンギンの狩り本能や生態を見てもらうために行われているので、動物に無理はさせないというのが旭山動物園の方針になっています。

それ以外にも旭川の冬には「旭川冬まつり」や「あさひかわラーメン村」で食べるアツアツのラーメンなど、まだまだおすすめがたくさんあります！今回紹介した以外にも魅力いっぱいの旭川ですので、季節にこだわらず皆様楽しんでいただけます。

ぜひ、旭川にお越しください!!

(大井希美)

当会へのお問い合わせは、下記の通りです。
一般社団法人 旭川薬剤師会
〒070-0029 旭川市金星町1丁目2番15号
TEL 0166-29-2422 FAX 0166-29-2433
mailto:asayaku@ahmic21.ne.jp

本コラムの情報は、2023年11月現在のものです。